

BY KOUICHIRO GOSHO NAKED EYES.

DIRECTOR

梶田真章

法然院第31代貫主
コミュニケーションディレクター

「当世稀に見る正直でやさしい坊主。
生き死にを委ねたくなる男。」



梶田真章

プロフィール 一九五六年五月十八日京都府生まれ、八〇年大阪外国語大学独語科卒業、八四年山陽大学法然院第31代貫主就任、八五年より法然院の教筆。九〇年より「トモロ」編集長の代表。九二年法然院の教室第9回朝日森林文化賞（後援部門）優秀賞受賞。

桜は散れど黄金週間ゴルトウイークは例年の如く行楽客で賑わう。京都特集号の寺院ガイドを見る。思い浮かぶのは百億円皮算用の古都税騒動に拝観停止、数十兆をめぐってお東さん紛争。本山数えること三九ヶ寺、寺院数三千ヶ寺の仏都京都。

靈感商法や古い商法、現世成仏の供養料、果ては脱税指南等話題に事欠かない本拠地。宗教法人が五千七百余りもある宗教都市京都。

“地獄の沙汰も金次第。”

皮肉な諺が脳裡をかすめる。懐かしいお寺の和尚さんは何処へ行ったのだろう。

こんな想いで散策の最中、人懐っこくも厳然とした住職に出くわした。

「ご存じですか……カ行ボンサン活用

御所 拝観料が要りませんでした。が、貫主は何で収入を得られているんですか。お寺の維持もあるでしょう。

梶田 当院は約五百軒の檀信徒のための檀那寺として成り立っています。檀家さんからの各種のお布施が寺院維持の財源となります。

御所 檀家は信者さんですね。私風にいうと、ファンクラブですね。支援者が少ないと、つまり人気がない寺院は維持が困難である。

浄土宗開祖、法然上人ゆかりの本山獅子谷法然貫主である。

観光名所哲学の道を歩くと、大文字を背後に鳥たちのさえずりが際立つ。静かな竹まいを見せる数寄屋風の茅葺の門を潜ると、白砂と池泉の庭園が迎えてくれる。禅寺を思わせることが本尊阿彌陀如来の法然院である。

法然院西方を南北に通じる『疎水べり』は哲学者西田幾多郎に因んで『哲学の道』と呼ばれている。現況を凝視め貫主は『金銭哲学の道』と。

無垢で零れるような笑顔からどんな教えを悟られるのか、気づかされるのか、興味津津である。

収入源として駐車場経営をしたり、不特定多数の物見遊山の人から拝観料を得る訳ですね。

寺が建立された頃とか、昔は？

梶田 天皇家や徳川家などの寄進に依って建立され、布教活動もあった訳です。勿論これも民衆からの年貢等が集められたものですが、近代になって寄進の基盤が無くなり、京の寺も檀那寺が観光寺かの選択を余儀なくされました。当院は檀那寺の性格を基本として

います。法然上人の遺跡寺院、近隣の方の朝まじりの寺、一般の方々の散策される寺などの様々な面をもって機能しております。御所 いずれにしても支援者を増やさないかね

梶田 ご存じですか？力行ボンサン活用を。

カタイ キライ クライ
ゲーム タイ コワイ

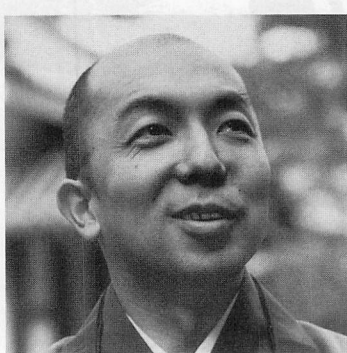
これは、亀岡市法華寺住職の杉若さんがおっしゃっているんですが。御所 成程、外れてないようです。だからですよ、お寺が身近じゃない。社会環境が変わったとはいえず、境内で子供が遊んでいる光景も見受けられないしね。

梶田 当院のお堂の中には、お風呂があります。「施浴」と申しませんが……。当時の家々にはお風呂がなく、彼方此方から寺へいらしたようです。

御所 へえ。カラカラ浴場の様な雰囲気だったんでしょうかね。

まさにスキンスリップ、裸の交際の場が提供されていた。人があつて感謝されたでしょうね。

湯あがりには世間話。悩み事探め事の相談は後を断たなかつたです



よう。布教は自然に民衆の心の中に入つてゆく。日々合掌ですね。梶田 寺の鐘も生活の時刻を知らせていて、息づいていました。御所 優雅やねえ……。今や年に一度。除夜の鐘がブラウン管とともに。その頃の和尚さんは何処へ。梶田 僧侶の精進次第です。それだけの期待をまだ抱いてもらええるのは有難いことです。

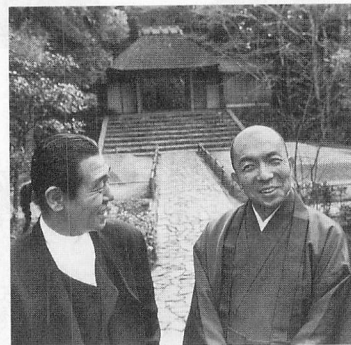
奇跡を求めてもらうても困ります

御所 既成仏教が葬式仏教ではないと、よく言われていますが。

梶田 「坊さんに仏教のことは聞くな」という言葉を耳にしますね。あなたがちが外れているとは思いません。しかし、そんな僧侶ばかりではありません。

葬式仏教について話をさせて戴くなら、葬式仏教が駄目だとは思いません。人間の生き死に全体に関わる本當の葬式仏教でないから問題なのです。僧侶が葬式のやり方だけを勉強し、説法もなく葬式を執り行うことのみに終わっているという点です。

御所 我々はこの世のことに興味があるんです。心の時代といわれて久しいですが、病める心は彷徨い、受け皿を求めているのでは。新宗教は周期的にブームとなり、二百万円の壺や墓石を買い求める人がいる。梶田 合理主義のつまづきの中で人はシャーマニズム的なものを求めます。しかし、宗教に奇跡を求められても困ります。自己を突き



詰めることで、どんな仏が必要なのかを考えていきたいものです。

御所 既成仏教は怠慢だと思えます。高い座にいる様で遠い存在で身近でない。どんな仏か解らないから関わり様がないのでは。

法事の時でも、お経が済んだらそそくさと帰るんですよ。講話があつたり、相談事を聞いてくれたりとか、昔はありましたよね。四条通や祇園さんでも易者の前に列ができるでしょ。そういう近さ。

梶田 法事のとに何故聞かないんですか。日本の場合、ごこの家でも僧侶や神官あるいは神父さんとか何かの縁をお持ちでしょ。

御所 ウーム……。諦めてるんだ。そういう人だと思つてない。聞けばいいんだ。聞きにいけばいいんですよ。ね。応えてくれるかな。

梶田 生き死にの儀式をやつてもらう人に相談するのが一番良いように思います。説法しない僧侶も望まれないなら話しても無駄だと諦めるのかも知れませんが、両方とも問題ですね。私は話が好

きですからよくやります。檀家外からも電話相談もありますよ。ある方などは「お話はいつもさせてもらっていますが、未だ買主の読経を聞いたことがない。次には

コンサートもコミュニティの場

御所 仏教美術・建築・音楽・華道に茶道とお寺は文化芸術に深く関わつてきていますね。

梶田 歴史的財産ですね。当院には新旧とり混ぜて変化に富んだ襖

絵があります。重要文化財の狩野光信筆の桃山時代の金碧画十四面。書院には堂本印象筆になる五八面の襖絵。池泉に湧出する善気水は飲料水として利用しています。

御所 買主は昨年十月に「京都発スペイン音楽絵巻」と題したクラシックギターコンサートを開催されていますが、芸術の舞台としての現代寺院の行き方でしょうか。

梶田 三年前から、環境問題に関心を持つ音楽家と「トウモロコシコンサートの会」を結成しました。回を重ねてきましたが、単に会場

一度聞かせて下さい。」と仰る。(笑)御所 広報不足なんです。四条通で全寺院の僧侶が一斉に辻説法のデモンストレーションをするといい。古都税抗議の時のパワーで。

を貸すだけに終わる神社仏閣でのイベントではあまり意味のあるものとは申せません。住職の精神的関与があつてこそ意義あるものと考えています。

御所 お寺がコミュニティの核となつて出合いの場となることは先程のお風呂の話と同様に素晴らしい。若者が集えるものを考えて下さい。音楽なら現代音楽も扱って欲しいな。

梶田 ジャズとか、ロックですね。音楽だけに限りませんが、たくさんアーティストの方と交流しております。その方を理解し、私との接点の中で皆さんにアピールしてゆきたいですね。

御所 トリは買主の読経では。(笑)



御所光一郎

「クラブフェイム」プロデューサー。
梶田真章氏より

仏教界のことまで疑問をお持ちのようでしたが、第一ラウンドはこれで良かったでしょうか。法然上人の話を見せてもらえなかったのが残念です。日頃感じていることを率直に話して載けて、大変勉強になりました。今後の糧にしたいと思えます。御所さんのたくましさや発想は大変柔軟で、本心を掘り出される。インパクトのある方です。